

αηρ はギリシャ語で「あえる」と読み、大気・天空を意味します。空で会える、仲間に会えるを合言葉に!



「とびまる」
マスコットキャラクター

広報

あえる

HOSPA

Vol.57

夏も冬も北海道のスカイスportsを楽しもう!

発行日 2016.1.15



特集 ～運航の安全について～ 「寄稿」

北海道滑空協会 会長 林和成

北海道ウルトラライト航空連盟 会長 山本満則

北海道ハング・パラグライディング連盟 理事長 濱田革

スポーツカイトの舞

2015鹿部フェアにて
撮影 広瀬素洋

SKY SPORTS EVENT 2015

北海道各地で開催のスカイスportsイベント紹介

HOSPA杯

パラグライダー・ラジコン

無料体験会

ニセコ・ルスツ

トピックス

「ニセコスカイラリー 2015」全国大会



「寄稿」 初めての開催地「鹿部飛行場」村田勝則

「2015 北海道スカイスportsフェアイン鹿部」



公益社団法人北海道スカイスports協会

HOKKAIDO SKY SPORTS ASSOCIATION

HOSPA

検索

〒060-0042 札幌市中央区大通西4丁目道銀ビル TEL011-232-4347

特集

運航の安全について

最近小型飛行機やグライダーなどの航空事故が全国的に多発傾向にあり、スカイスポーツ界に対しても、行政から安全運航に向けての調査や指導がなされています。安全面については日頃から業界あげて種々対策を講じてきたところですが、今回はあらためて、道内における事故発生の現状と、事故防止に向けての取り組みや心構えについて、関係団体（北海道滑空協会、北海道ウルトラライト航空連盟、北海道ハング・パラグライディング連盟）から寄稿していただきました。

北海道滑空協会 会長 林 和成

「航空事故防止に向けて」

○安全運航に向けた取り組みを強化

広い北海道の空。これを有効活用しようと北海道スカイスポーツ協会が中心となり、各種スカイスポーツの支援や啓発活動を進めてきており、お蔭で各団体と連携しながら充実した活動ができています。事故のない安全で楽しいスカイスポーツの実現は、私たちパイロットの願いです。しかし、残念なことに近年、北海道でも事故が多発しました。人々に事故に巻き込まれる恐怖や多くの不安を与えてしまいました。

スカイスポーツに興味を持たれ、支援や協力をして頂いている方々や関係団体の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。安全運航を目指さなければならぬと改めて強く意識しております。その事を第一に考えて活動しているはずでしたが、十分に認識されていなかったと反省をしています。

○何をすべきかを細部にわたって再点検

運輸安全委員会が再発防止のための調査を行っています。その報告を受けて安全運航に向けた取り組みを強化していかなければなりません。報告を待つまでもなく、事故に至った原因を推測し、同じような事態に陥らないようにするには、どうしたらよいのか、組織として、個人として何をすべきか細部にわたって再点検をしているところです。

○事故の多くは、操縦ミスや判断ミスが原因

事故の多くは、操縦ミスや判断ミスで起きています。風や高度を正しく把握しないで着陸に失敗、天候が悪化し視界不良や乱気流で山肌につかってしまったという事故がありました。パイロットに求められることは、「今日は、安全に飛行ができる天候であるか」、「今日の飛行に見合った操縦技量



鹿部フェアにて2機編隊飛行

はあるのか」、「機体の耐空性は確保されているのか」と総合的な視点から「今日は飛べる」と言う判断ができなければならないのです。

○安全講習会や指導者講習会の開催

パイロットの安全に対する意識の向上のために指導的立場にある者のしつかりとした対応が求められています。北海道滑空協会では、毎年、安全講習会や指導者講習会を開き、安全運航に関する学習会や実技体験の場を設け、安全な運航への意識や技量の向上に努めています。



安全講習会

○各種団体・組織が連携して活動を進める

自動車を運転されている人たちは、運転中、「人の飛び出しはないか」、「スピードを出しすぎではないか」など色々な状況を把握し、いざという時に対応できるように心の準備をされて安全運転をしておられると思います。航空機を操縦するパイロットも飛行における危険を予測し、その危険が避けられるように最大限の努力をしています。リスクを予知し避けることができる能力を高めることが求められています。今後も各種団体・組織が連携して事故防止を目指して活動を進めるとともに楽しく安全なスカイスポーツの振興に努めます。

「安全飛行への取り組みと 事故防止対策について」

北海道ウルトラライト航空連盟

会長 山本 満則

○安全飛行と無許可飛行禁止の徹底

平成27年現在日本国内において、近年にない航空機事故が多発している事に鑑み、改めて日本マイクロライト航空連盟並びに北海道ウルトラライト航空連盟として、全会員へ事故防止の注意喚起文書を通じて安全飛行と無許可飛行禁止の徹底を図る様、啓発しております。



鹿部フェアデモフライト

○安全管理者の義務付けと操縦指導者の養成

当連盟では、安全飛行への取り組みとして、超軽量動力機等に関する航空局通達（サーキュラー）による安全管理者を義務付けており、安全に必要な機体の確認並びに安全の確保、機体操縦の技量向上と飛行許可申請に必要な知識を養う為、また、操縦指導者の養成を図る為に、いずれも新規試験を定期的に実施し人材確保に努めている次第です。

○安全講習会（定期講習）の毎年実施

超軽量動力機等事故発生要因として、飛行中のエンジン停止が特に多く掲げられ、当連盟としては北海道スカイスポーツ協会から支援を頂き、毎年



マイクロライト日本選手権(大樹町にて)

実施しています安全講習会（定期講習）に、専門家を招き、機体の整備、エンジン整備技術の習得の他、過年には航空局職員を招き飛行に必要な許可申請内容と無許可飛行禁止の徹底を図っているところです。

「大空を楽しむために！」

北海道ハング・パラグライディング連盟

理事長 濱田 革

○安全対策の取り組み

北海道ハング・パラグライディング連盟（HHPF）は、日本ハング・パラグライディング連盟（JHPF）に所属し、道内のハンググライダー、パラグライダー、モーターパラグライダーの普及、振興、安全対策を担っています。愛好者の集まりである任意団体で、北海道スカイスポーツ協会の応援も得ながら、事故が発生した際の注意喚起を始め、事故報告の取りまとめ、安全講習会の開催など、道内のフライヤーに対する安全啓発に取り組んでいます。

○安全講習会の開催

毎年開催している安全講習会（北海道スカイスポーツ協会共催）では、事故報告を元にした今後の安全対策の検討、ツリーランディング時の脱出方法、JHPF安全対策委員による最新の機材や技術情報の普及などを行っており、多くのフライヤーに興味を持ってもらうよう、海外で活躍する選手の報告会を兼ねたりしています。

しかしながら、フライトや安全対策に関心の高いフラ

イヤーは、上記の様な注意喚起や安全講習会に関心をもち、吸収し、自分のフライトへ生かしていますが、これらに消極的なフライヤーにはなかなか伝わっていないと考えられます。そして、事故の内容をみると、基本的なルールの逸脱、初歩的な技術ミス、慢心や気のゆるみなどが事故原因と考えられます。



安全講習会

○パイロット証更新制導入等の制度改革検討

事故の報道は、新たなフライヤーの増加に少なからず影響を与え、JHPF総会でも毎年議論されています。事故を減らす一つの対策として、現在、パイロット証は一度取得すると一生所持できますが、例えば3年間の更新制とし、更新時に最新の技術や安全知識の講習を義務化するなどが検討されています。

HHPFとしても、安全対策は重要な取り組みと考えており、当面は、様々な機会を通じて、少しでも多くのフライヤーに安全に対する普及啓発を行って行きます。



無料体験学習会

北海道各地で開催された 2015 SKYSPORTSEVENT

スカイスポーツイベントご紹介

●5月5日(火) ■たきかわスカイパーク こどもたちに大空のプレゼント

当選した55名の子供たちとご家族に空中散歩を楽しんでいただきました。寒冷前線通過後の少々荒れたお天気でしたが、みなさん元気いっぱいでした。



●5月10日(日) ■北見市民会館 北見市こどものつどい

寒さがこたえる屋外ブースでしたが、100名をこえる子供たちが夢中になって手作りした竹とんぼを空高く飛ばし、目を輝かせました。子供の笑顔と歓声が私たち「どこ竹」の一番のご褒美です。



●6月21日(日) ■札幌市自転車公園 竹とんぼ教室

朝から晴天に恵まれ、輝く太陽のもと製作に集中。午後からの競技会では幼稚園生から小学6年生まで16人が参加、6年生の女の子が優勝しました。自分で作って飛ばして、子供たちより親のほうが力が入った1日でした。



●2月7日(土)～8日(日) ■サロマ湖周辺 2015サロマ湖氷結フライト

流水を観に海側へ行く人。何処までもつづく真っ白な湖面を超低空飛行して楽しむ人。氷結したサロマ湖と流水が浮かぶオホーツク全てを眺めようと高度を上げる人。いろいろ楽しんでいるようでした。



●5月～11月 ■スカイポートビバイ(美唄) H27年美唄タンデムジャンプ (スカイダイビング)

美唄を舞台にタンデムジャンプ活動を続け、5年たちました。今年はグループの申し込みや、親子やご夫婦での記念ジャンプが増えましたが、夏以降天候不良などで、昨年より若干減少で終了。新規HPやジャンプDVD製作などこれからもPRしていきます。4月からパラグライダースクールも始まり、賑わいを増しています。



●1月2日(金) ■札幌市伏古公園 第38回新春えと100連風揚げ

新年恒例、正月の連風揚げ。約2ヶ月かけて製作したえと連風「ひつじ丸君」が揚ると「きれい!最高!」と歓声があがりました。これで私の1年が始まります。毎年協力いただく「札幌風の会」の皆様に感謝!です。(田中)



●2月7日(土)～8日(日) ■上士幌町航空公園周辺 上士幌ウィンターバルーン ミーティング

「冬の白銀の大地と熱気球が描く鮮やかなコントラストが映える」このイベントは全国から競技チームが参戦するだけじゃなく、多くの写真家を魅了しています。天気がよければ係留体験によって北海道の広大な空と大地の冬景色が堪能できます。



●9月13日(日) ■札幌市丘珠空港

札幌丘珠空港フェスタ

格納庫ではヘリコプター等の展示(コックピットで記念撮影)。紙飛行機教室や滑走路見学ツアー。空港ビル会場ではHBC等の協力のもと、元日ハム投手金村さんのトークショーやラジオ作り体験など、みなさん秋の一日を楽しんでいました。



●10月11日(日)～12日(月)

■たきかわスカイパーク

ヴァンテージグライダーフェスティバル

ヴァンテージグライダーの魅力をもっと知ってもらおうと、6機のヴァンテージグライダー



を披露。「風の谷ナウシカの飛行機」を模した軽量飛行機(M-02J)の展示や、青森県立三沢航空館所有の複葉グライダー(HAYABUSA)による操縦体験を行い、多くの方が熱心に写真撮影や操縦席に座る体験をされていました。



●8月7日(金)～9日(日)

■上士幌町航空公園周辺

第42回北海道バルーンフェスティバル

競技気球29機オフシャル3機が参加。4回フライトで7タスク実施。来場者は昨年を上回る22700人。1300人の方が係留体験。夜空に浮かび上がるバルーングローやSTVラジオの公開放送、プレミアム商品つきもちまき大会など盛りだくさんの夏のイベントを楽しんでいました。



●9月5日(土)～6日(日)

■本別町利別川河川敷特設会場

本別きらめきタウンフェスティバル2015

お天気に恵まれ、初日の「東十勝花火大会」の4500発の花火に歓声!「熱気球体験」「戦隊ショー」「歌謡ショー」「うまいもの市」に4万1千人が来場されました。



●6月28日(日) ■札幌市川下公園

第18回さっぽろカイトフェスティバル

和風、連風、大風、創作風が次々揚がり、そばではプレゼント風を揚げる親子連れが楽しそう!スポーツカイトの実演では札幌イナズマチームの演技が披露されました。



●7月11日(土)～12日(日) ■遠別町

2015フライヤーズサミットin遠別

遠別町の応援をいただいたフライトエリア。フライト環境の良さ情報が全国に広がり、今回は沖縄からの参加者も!懇親会では北海道のジンギスカン鍋をかこみ話が弾みました。



●7月26日(日) ■当麻スカイパーク

第29回当麻スカイスポーツフェスタ2015

朝は晴れて、参加団体による展示デモフライトが予定通りはじまりましたが、昼過ぎに雨が降り始め、午後の部は中止となりました。



●8月1日(土) ■北見道立体育館

親子でエクササイズ&竹とんぼ&水鉄砲をつくろう!

簡単なエクササイズで体をほぐした後工作教室。手作り竹とんぼを飛ばし、水鉄砲はお互い(お母さんたちも)撃ち合いに快感!一度やったらやめられない!夏ならではのタオル必携イベントです。



●2016冬季イベントカレンダー

- 1月 2日(土) 札幌市 第39回新春えと連凧100連揚げ
- 1月31日(日) 中富良野町 富良野バルーンミーティング
- 2月6日(土)・7日(日) 上士幌町 上士幌ウィンターバルーンミーティング
- 2月6日(土)・7日(日) サロマ湖周辺 2016サロマ湖氷結フライト大会
- 2月上～中旬 音更町 ゆめ気球とかち
- 2月14日(日) 小清水町 スカイフェスティバル
- 2月21日(日) 和寒町 わっさむ越冬キャベツバルーンミーティング



※4月からのイベント予定は4月中旬「スカイスポーツイベントカレンダー」ホームページでお知らせします。

2015 ホスパ杯 ラジコン パラグライダー

「第12回 HOSPA Cup 2015 in 島牧」

●9月26日、27日荒天でフライト中止

昨年の大会は、前日の雨や強風が収まり、好条件のなかを参加者全員が日本海を望む絶景を満喫し、写真コンテストなども実施、濱田氏は記録的な距離を飛ぶなど大いに盛り上がりましたが、今年は大会2日間とも風の影響でフライトを断念、参加者の地上タスクと懇親会を行い次回に期待することとなりました。

「第14回 HOSPA杯争奪スケールアクロ競技会」

●10月11日(日)於札幌エアームズ専用飛行場

今年度は当初予定していた9月13日が雨天のため順延、10月11日に改めて開催いたしました。当日は朝から晴れて参加選手全員集合のもと1ランウンド目順調に進行しておりましたが、途中強い雨が降り始め一時中断後再開無事終了しました。午後の2ランウンド目には再び雨模様となり、やむなく1ランウンド目の成績で順位を決定することとしました。天候の変化が激しく予定を組むのが大変でしたが何とか無事終えることが出来ました。



パラグライダー 無料体験学習会開催



ルスツ練習場 平成27年5月24日(日)スタッフ参加者計37名
カムイスキー場 平成27年6月27日(土)スタッフ参加者計28名

フライヤー人口が減少する中、新たなフライヤーを獲得するため、北海道ハング・パラグライディング連盟では毎年ルスツとカムイで無料体験学習会を開催しています。

今年の体験学習会もルスツとカムイで予定通り行われました。両日とも晴天に恵まれ大勢の参加応募者が集合しましたが、フライトには風の条件が整わず主に機材の扱い、立上げの練習や、スタッフによるトーイングで「ふわり」体験となりましたが、ほぼ全員浮かせるまで行うことが出来ました。今年の参加者には、スクール入会に前向きな人もいたため、来年度からは無料体験後新規入会につながる新たな仕組みを考え、引き続きパラグライダーの振興に向けて取り組んでいきたいと考えております。



トピックス

10年ぶりに全国大会「ニセコスカイラー2015」

平成27年9月19日～22日 大会実行委員長 濱田革(北海道ハング・パラグライディング連盟理事長)

ニセコスカイスポーツ倶楽部(代表遠藤洋二)では1987年からニセコスカイラーを道内大会として毎年開催しておりますが、北海道パラグライダー界を盛り上げ、広く道民の皆様パラグライダーを身近に感じていただくことを目的として、今年度は日本各地からフライ



ヤーを集めて約10年ぶりに全国大会として開催しました。開催期間は不安定な天候に悩まされましたが、全国から参加した50機以上のパラグライダーがニセコの空を舞いあがり、スケールの大きなフライトを存分に楽しみ、22日の競技会では京都府の岩崎選手が31.2Kmを43分で飛び見事優勝しました。地元ニセコや道南のクラブ員総勢20名も、大会独特の緊張感の体験や全国のフライヤーとの交流など充実した時間を過ごすことが出来ました。ニセコの空を満喫した参加選手からは今後も毎年開催してほしいとの声もあり、北海

道ニセコエリアの素晴らしさを多くのフライヤーに味わっていただくこととエリアの可能性を広げるとの視点で、また、参加のフライヤーには北海道の空の魅力を全国に広めていただくこと、ひいては大会開催がパラグライダーの愛好者増に少しでも繋がることを念じ、開催時期や大会規模等検討し今後も継続開催していきたいと考えています。



「北海道スカイスポーツフェアイン鹿部」を終えて 村田勝則



2015鹿部フェアのポスター

延べ来場者数4,100人!

道南では初めてとなる北海道スカイスポーツフェアが、8月30日鹿部町(鹿部飛行場)で開催されました。北海道スカイスポーツ協会をはじめ、鹿部町の多大なご尽力と各スポーツ団体各位のご協力により、飛行展示、地上展示、各種体験、子供教室、アトラクション等が実施されました。

当日の朝は海霧(雨)で残念ながら早々に熱気球の体験搭乗は中止。このままフェア全体の中止も危ぶまれましたが、関係者の皆様の熱意が通じたのか天候は徐々に回復。一部のプログラムの変更はありましたが、ほぼ予定通りにフェアを終えることが出来ました。

これも皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。天候により熱気球とヘリ遊覧が中止となったのは残念でしたが、来場者数は延べ4,100名に達し嬉しい限りです。

『体験してみたい!』一番の驚きは女性からの問い合わせ

初めてのフェア準備で一番の驚きは、各種体験搭乗やスカイダイビングに関して、女性から『体験してみたい!』という問い合わせが多かった事です。また、来場者からは次回のフェア開催について飛行場スタッフに問い合わせる声も多く、機会があればスカイスポーツに関する大会や体験イベントを鹿部飛行場で開催したいと思った次第です。

パイロット養成事業の初期訓練スタート

また、鹿部飛行場では、9月16日から飛行機パイロット養成事業の初期訓練をスタートさせました。駒ヶ岳を望む鹿部飛行場から目標に向かって飛び立つ皆さんとスタッフ。

空への憧れ夢への第一歩を鹿部飛行場から始めては如何でしょうか。朝日航空(株)では、そんな皆様の全力でサポートしています。関係各位におかれましては、今後とも鹿部飛行場のご利用とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



秀峰駒ヶ岳を背景に訓練生とスタッフの皆さん

一般社団法人
北海道開発技術センター

dec

Hokkaido Development Engineering Center

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル3F・4F
TEL 011-738-3361 FAX 011-738-1886
URL <http://www.decnet.or.jp/>

お客様のニーズにお応えし、最高の品質をお届けします

損害保険・生命保険・医療保険代理店、
不動産仲介業、賃貸・管理

北海道建物株式会社

〒060-0063 札幌市中央区南3条西6丁目3番地
<http://www.do-tate.co.jp>
代表 TEL(011)281-0123
支店/旭川、函館、苫小牧、帯広、北見、釧路

地域の元気を水辺から!

一般財団法人石狩川振興財団

札幌市中央区南1条東1丁目5番地
電話(011)242-2242 FAX(011)242-2445



HOSPA HOKKAIDO SKY-SPORTS ASSOCIATION

公益社団法人 北海道スカイスポーツ協会

当協会では自治体はじめ団体、個人の方を会員として募集中。スカイスポーツ振興に興味のある方は、下記ホームページを参照のうえお電話(011)232-4347にてご照会下さい。

ホームページは「HOSPA」で検索

●登山 ●キャンピング ●カヌー ●XCスキー
アウトドアスポーツ専門

秀岳荘

北大前店/北区北12条西3丁目 ☎726-1235
白石店/白石区本通1丁目南2 ☎860-1111
旭川店/旭川市忠和5条4丁目 ☎(0166)61-1930

2015北海道スカイスポーツフェアイン鹿部

開催日：平成27年8月30日(日)

場 所：鹿部町 朝日航空(株)鹿部飛行場

スカイダイビング降下 町旗大会旗の返還式
町長 本部長 スカイダイバー 揃って 記念写真



鹿部の空で感じよう、
道南の風



鹿部町商工会出店テント
広い芝生でくつろぐ観客



いつも大人気のハングシミュレーター



降下中のパラシュート
みんな見上げて 顎が...



マイクロライトプレーン
パイロットは日本選手権優勝者

デモフライト
ラジコン
軽飛行機
モーターグライダー



広い格納庫で音響も抜群!
鹿部中学吹奏楽の演奏



優雅に、そしてダイナミックに舞う
3機のスポーツカイト



ラジコン展示
噂のドローン?
ジェット機
ヘリコプター



子供教室 親も子も 集中しています!



初めての体験... 私はパイロット



地元の海産物が当たる、お楽しみ
抽選会に大盛り上がり



おめでとう!
模擬競技会入賞表彰



プログラムを終えて機体を振って帰路に
再会を祈り、手を振ってお別れ...

